

河川等水質調査結果 「きれいな川」はみんなの願い

用語解説

町では、毎年定期的(年4回)に河川などの15箇所水質調査を行い、監視及び汚濁防止に努めています。

また、国では、健康の保護及び生活環境を保全するうえで維持することが望ましい基準として環境基準を定めています。「生活環境の保全に関する環境基準」に基づいた千曲川における基準値と、調査を行った河川・用水の測定結果は下表のとおりです。

BODは3箇所基準値を上回りましたが、pHとSS、DO

は全ての箇所基準値を満たしています。また、大腸菌群数は、15箇所中9箇所基準値を上回りました。

皆さんの環境に対する意識の向上や下水道の普及などにより、水質は改善傾向にあります。河川の水質汚濁の原因として生活排水の影響も考えられます。使用したテンプラ油を直接流さないなど、家庭から出る水を汚さないようにしましょう。

★河川へのごみの不法投棄や農薬の投棄は絶対にしないでください。

主な河川・用水の水質調査結果

調査日 令和3年3月2日
※()内は参考値：平成28年3月1日の調査値

調査項目	pH	BOD	SS	DO	大腸菌群数
千曲川の基準値	6.5~8.5	2以下	25以下	7.5以上	1,000以下
単一位	—	mg/l	mg/l	mg/l	MPN/100ml
①六ヶ郷用水上流	6.9 (7.7)	0.7 (1.6)	2 (4)	12 (13)	79 (200)
②出浦沢川	7.0 (7.4)	1.0 (1.3)	1未満 (1未満)	11 (12)	330 (200)
③六ヶ郷用水下流	7.4 (7.6)	0.8 (2.6)	1 (9)	15 (12)	2,200 (13,000)
④福沢川	7.4 (7.7)	1.9 (4.6)	3 (10)	11 (11)	1,700 (54,000)
⑤宮沢川	7.4 (7.7)	2.2 (2.3)	2 (5)	12 (12)	1,400 (2,800)
⑥日名沢川	7.5 (8.5)	2.2 (3.6)	1 (1未満)	12 (13)	490 (100)
⑦前田用水	7.8 (9.8)	0.6 (2.5)	1 (1)	16 (17)	9,200 (100)
⑧入田川	7.8 (8.0)	0.7 (2.2)	1未満 (4)	11 (12)	700 (900)
⑨反町川(御堂川)	7.7 (7.7)	1.9 (2.4)	1 (1未満)	12 (11)	3,500 (2,100)
⑩中之条用水下流	7.9 (7.5)	0.9 (2.9)	1 (17)	11 (12)	24,000 (6,000)
⑪前沢川	7.8 (7.2)	1.9 (4.5)	1未満 (53)	10 (12)	3,500 (1,400)
⑫谷川	8.0 (7.5)	0.8 (1.7)	1未満 (1未満)	12 (12)	130 (500)
⑬塚田用水	8.3 (7.3)	1.8 (17.0)	4 (19)	13 (10)	33,000 (11,000)
⑭中之条用水・塚田用水分岐点	8.3 (7.1)	7.5 (6.7)	6 (5)	9 (10)	2,400 (270,000)
⑮欠口用水	8.2 (8.9)	1.7 (1.6)	3 (4)	12 (12)	940 (900)

pH：水中の水素イオン濃度を示します。値が7の時は中性、これより高くなればアルカリ性が、低くなれば酸性が強くなります。

BOD(生物化学的酸素要求量)

：河川などの汚れの程度を示すもので、微生物によって消費される酸素の量です。値が高いほど有機物の量が多く、汚れていることを示します。

SS(浮遊物質)：粒径2mm以下の水に溶けない物質です。

水の濁りの原因となるので浮遊物が有機性である場合は腐敗し、水質が悪化します。

DO(溶存酸素)：水中に溶け込んでいる酸素の量です。水の自浄作用や水生生物の生存には欠かせないもので、清浄な河川に有機物の流入量が多くなり汚濁が進行すると、値が減少します。

大腸菌群数：人や動物の腸管に常存し、魚類の腸内や畑の土中にも生存しています。

問い合わせ先

住民環境課環境保全係
☎82-3111(内線125)
直通75-6204

